

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和6年7月（着任2ヶ月）
主な活動	1.職員紹介、在校生へ紹介、クラスマッチ見学@薩南工業高校 2.地域みらい留学・大阪説明会 3.地域活性化評議会への参加

1.職員紹介、在校生へ紹介、クラスマッチ見学@薩南工業高校

7月17日に薩南工業高校へ伺いました。

職員会議前にご紹介いただき、これから高校の広報・宣伝をお手伝いしていくことを伝えました。その後、クラスマッチが行われるとのことで見学させていただきました。競技として男女バレーとサッカー、モルックにボードゲームと展開されていました。私の高校時代はバレーとサッカーが主流でしたが、モルックというフィンランド発祥の木の棒を倒すスポーツや教室で人生ゲームやトランプをする競技も種目に追加されていて時代に合わせた選択肢の多さに感心しました。生徒たちもそれぞれの競技を楽しんでいる様でした。



2.地域みらい留学・大阪説明会

7月20日

地域みらい留学の合同説明会が大阪のホテルフクラシアベイで開催され、参加してきました。

都心部から地方に留学するという本制度。地域活性化と人口増加へ繋げるため高校の人口からアプローチをかけるための制度の一つであります。

今回の説明会はこの制度に参画している全国各々の高校は自校の魅力を紹介するイベントとなっていました。

南九州市は川辺高校と薩南工業高校の2校でブースを展開し、其々で説明しました。同行したのは南九州市役所職員2名、各学校職員1名ずつで、南九州市の魅力紹介から高校の魅力紹介という構成で紹介をしていきました。今回、説明会自体に初めての試みであり他の高校がどの様に取り組んでいるのかのリサーチも兼ねて参加しています。

地方の区域ごとにブースが固められ、其々の地域の宣伝方法などの特色が見えて面白さを感じました。特に北海道の宣伝方法はブースを飛び出すほど勢いがあって感動して非常に心動かされました。また、大阪の近隣である近畿地方の高校は参加人数が25名と多く、理由を聞いたところ陶器を焼く珍しい学科であることと大阪近隣で留学先を探す生徒さんが多いということが分かりました。＊やはり距離のことは心配な保護者も多い様です。

7月21日

2日目も1日目と同じくらいの人数の参加でした。東京の説明会に参加された他の高校の教職員の情報によると大阪での説明会は全体の参加人数が少なく、東京での説明会の夕方の方が人が疎な状態が大阪説明会の最も多い状態であるとのことでした。そんな中2日間で呼び込みを行い、川辺高校は10名、薩南工業高校は13名の学生、保護者への説明を行うことができました。説明の後に寮整備についての独自アンケートも取っているのをこれらを参考に寮整備を整えていこうと思います。他校がどの様な取り組みを行なっているか、保護者や学生は地域みらい留学に何を求めてきているか＊特定の部活、地域との関わり、都会にない暮らし等の情報を存分に吸収することのできた非常に有意義な2日間となりました。

地域おこし協力隊活動報告書



ホテル会場外観



説明会会場



2ブースセッティング



イベントブース



川辺高校



薩南工業高校

3.活性化協議会への参加

7月23日、川辺高校の別館協議場にて活性化協議会が開かれましたので参加してきました。市長から市議会議員の方や市役所職員、自営業者の方々と、川辺のことを大切に想う方々が一挙に集まって、これからどの様に川辺を盛り上げていくかを協議しました。中でも高校の人口増加の重要性についての話し合いではSNSを利用し、生徒人口を増やした串木野高校の事例や口コミの重要性が学校を作るという意見を元に宣伝方法をどの様に展開していけば良いか道筋が見えるような非常に有意義な協議となりました。今回の評議会を元に川辺の様々な方々と協力体制を作りつつ活動していきたいと思います。